Ver2.0B

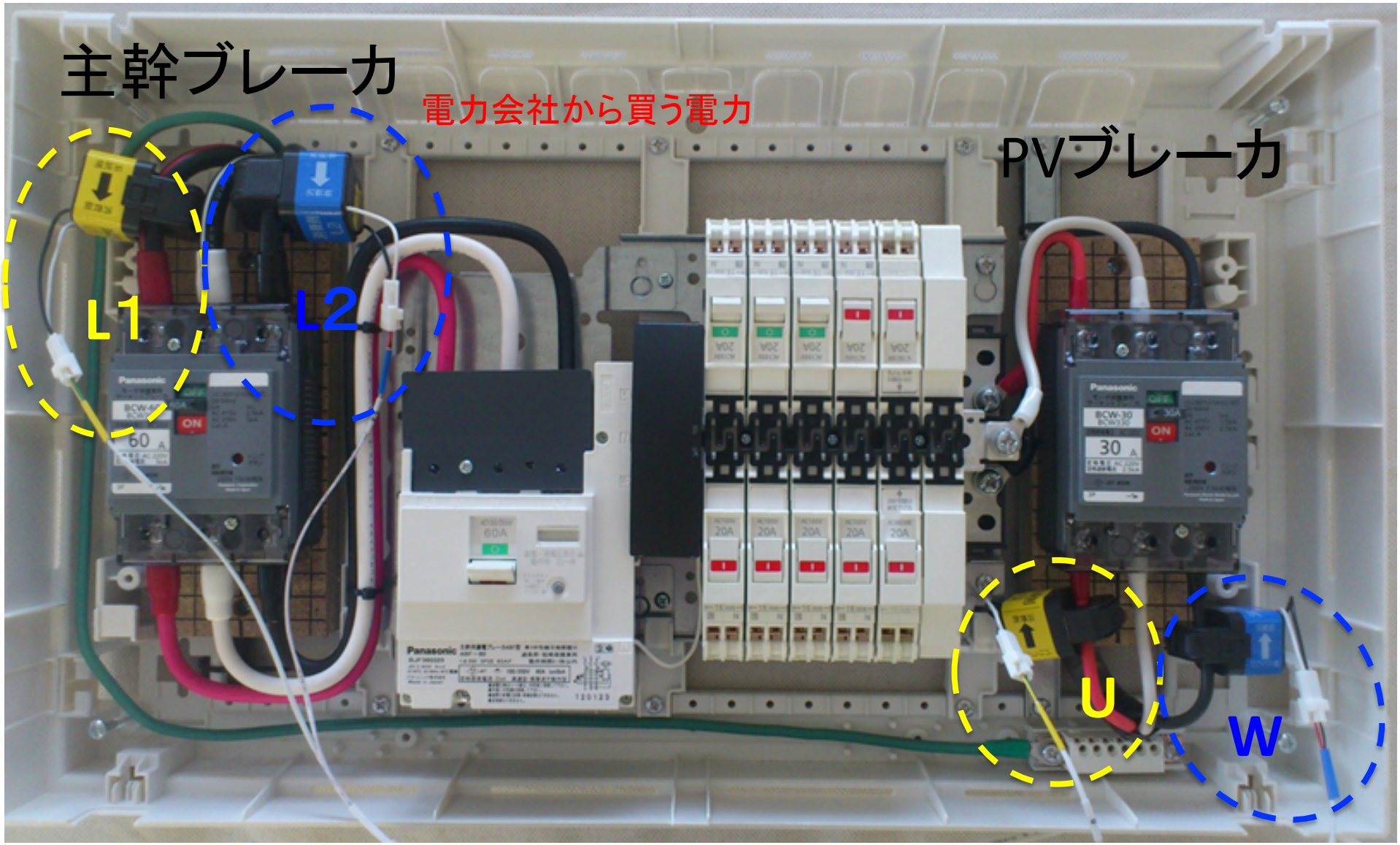
エコめがね施工概要

NTTスマイルエナジー

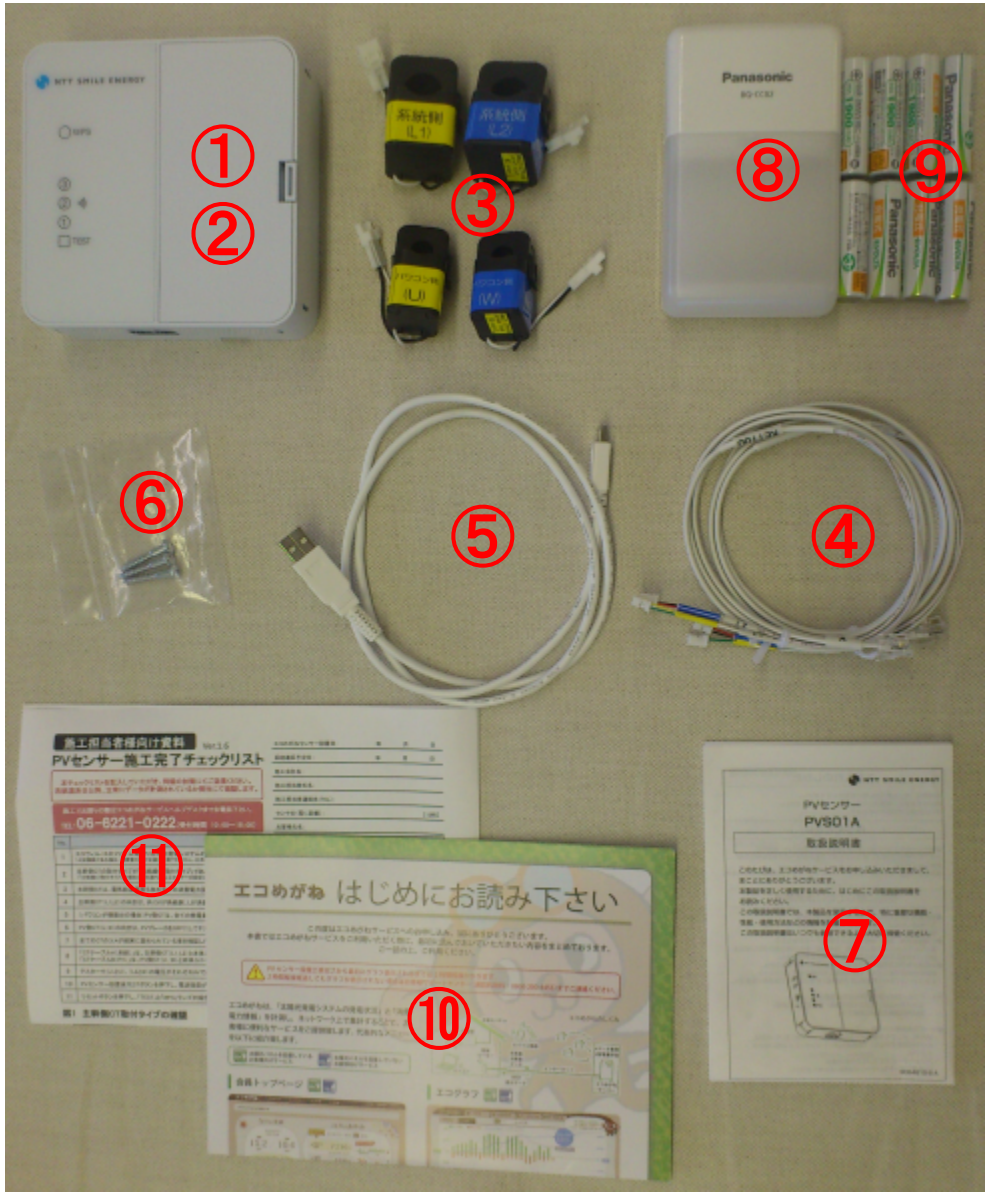
※詳細については、別途「施工マニュアル」を参照下さい。

施工例の写真

計測器を4カ所に付けて、家庭に流れ込む電力を計測する



同梱物内容の確認



① 本体ユニット（PVセンサー）

② 壁掛けプレート

本体ユニットに取り付けた状態で入っています

③ 電流センサー（CT）

ϕ10mm×2

ϕ16mm×2

④ CTケーブル

CTケーブルA （系統） 1本

CTケーブルB （PV） 1本

⑤ USBケーブル（1m）

⑥ 壁取り付け用木ネジ（+）

⑦ 取扱説明書

⑧ 充電器

⑨ 充電式単三電池8本

⑩ はじめにお読み下さい

ユーザー向けクイックマニュアル

⑪ 施工完了チェックリスト

返送用封筒付き

【オプション部材】

CTケーブル（3m）

CT（10mm/16mm）

同梱物内容の確認

無線LANルータ
BUFFALO　WHR-G301N　（変更になる可能性があります）

センサーとすでに無線接続済みなので、
一対で送付された物を使用してください

施工に必要な機器の確認

■ 施工業者様にてご用意いただく物品

項目	チェック欄	品名	主な用途	備考
工具類		テスター	CT設置時	CT設置の正常性確認用
		ニッパー	分電盤穴開け時	
		＋ドライバー	PVセンサー固定時	
		脚立	分電盤作業時	
		絶縁手袋	分電盤作業時	
		カッターナイフ	分電盤作業事	
		ウエス	分電盤作業時	作業終了時の分電盤掃除用
		養生シート	作業全般	壁、床の養生用
消耗品		モール	CTケーブル配線作業時	CTケーブル隠し用
		アンカー	壁掛けプレート設置時	木ねじ（＋丸3.8×25）は本体に付属
		クリップ・つまようじ	PVセンサー動作確認時	リセットボタンを押下用
		インシュロック	分電盤作業時	CTケーブル処理用

工事前の確認

確認ポイント　：　①電力結線位置
②ネットワーク環境

施工前の確認

消費用CTを、太陽光パネルからの電力線の結線位置より、系統側に設置するか、消費側に設置するかで作業が異なります。

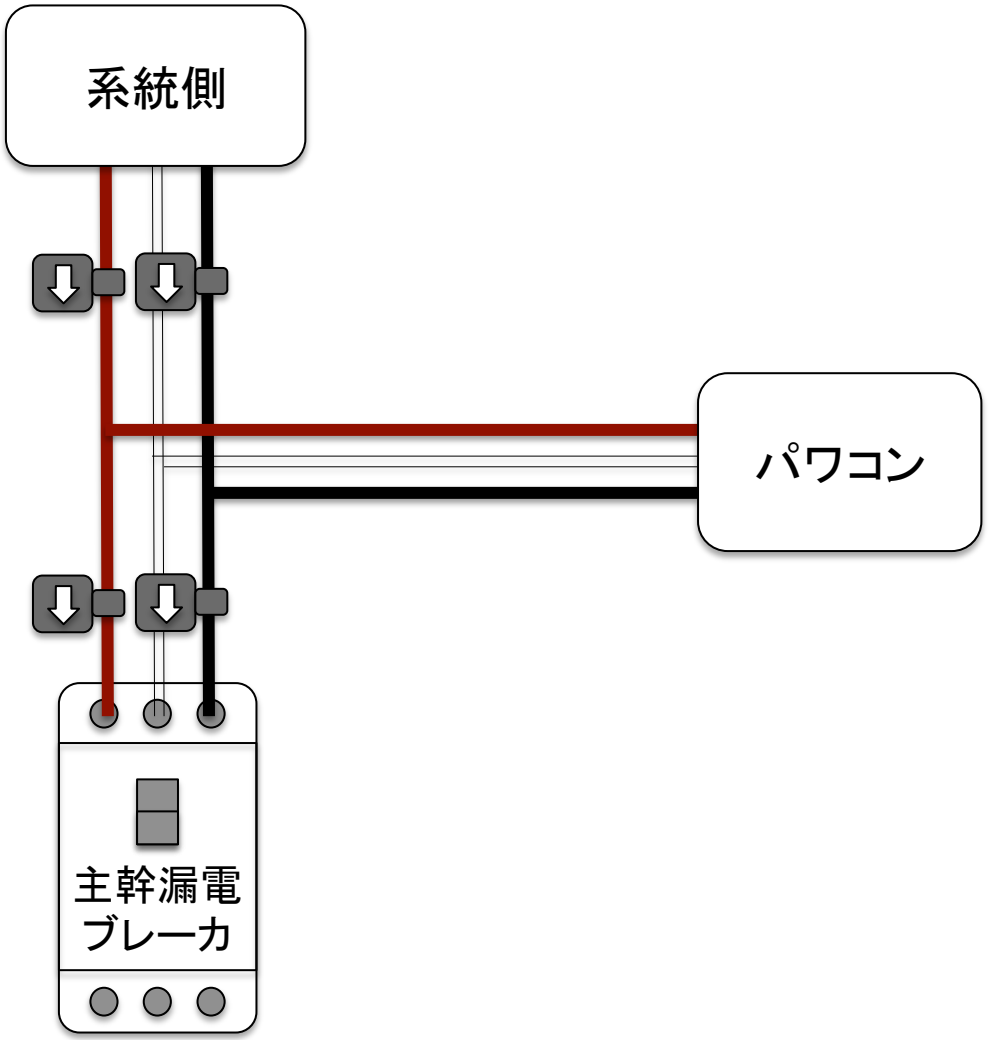
結線位置より系統側にCTを付ける

直結線CT取付タイプ

結線位置より消費側にCTを付ける

分岐線CT取付タイプ

作業日前に、センサーの設定変更が必要になります。



施工前の確認

この工事はお客様のインターネット環境に手を加えるものではありませんが、最初と最後には念のためにご確認ください。

設置の流れ

1、PVセンサーと無線ルータの電波強度確保

・PVセンサーに電池を入れる
・ルータにLANケーブルと電源アダプタを接続する
・TESTボタンの結果で電波強度を確認する

2、PVセンサーとCTを設置し、ケーブル接続する

・PVセンサーの壁掛けプレートを固定する
・PVセンサー、CTを設置する
・CTケーブルで接続する

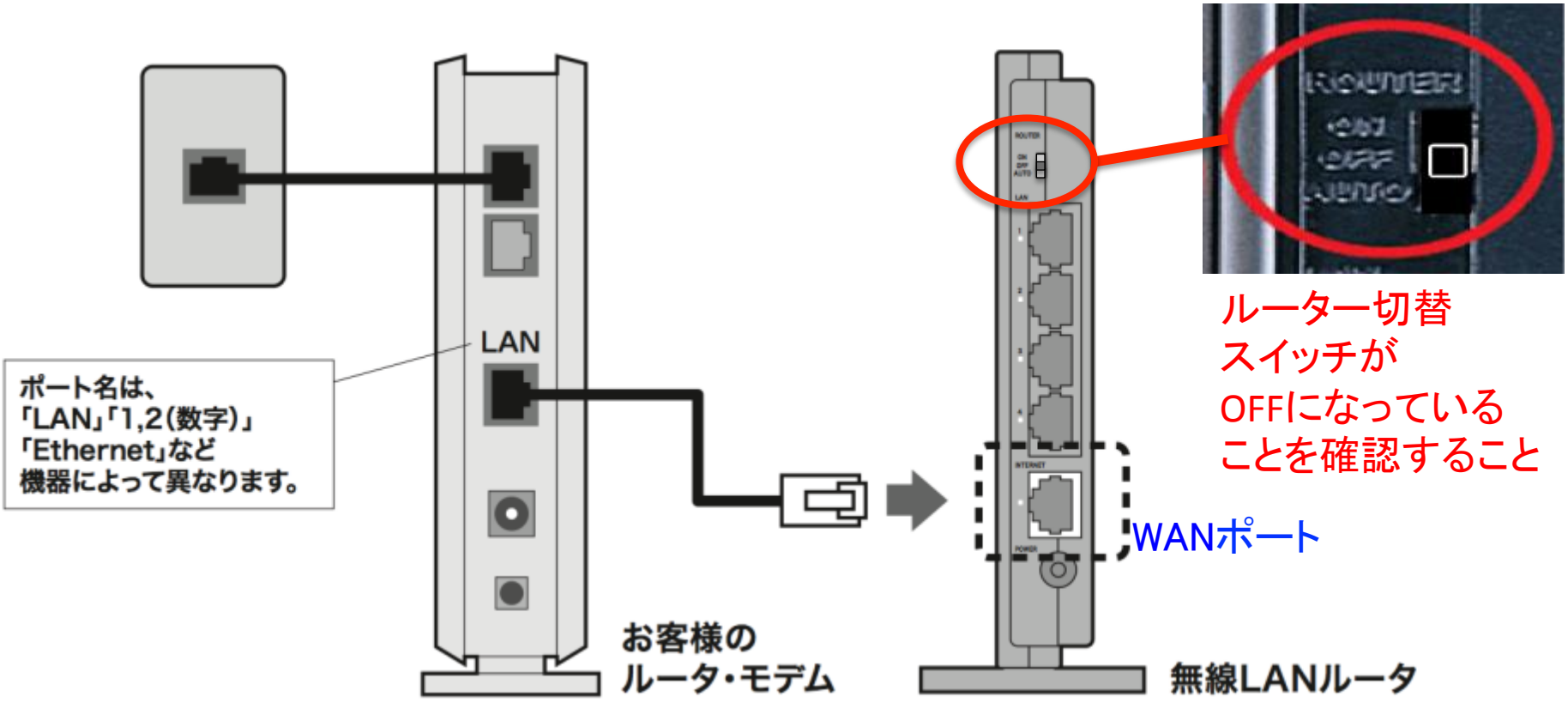
3、確認、配線作業

・テスタを使って位相を確認する
・リセットボタンを長押しして確認する
・CTケーブルをモール等で整理する

1、本体ユニットと無線ルータの電波強度確保

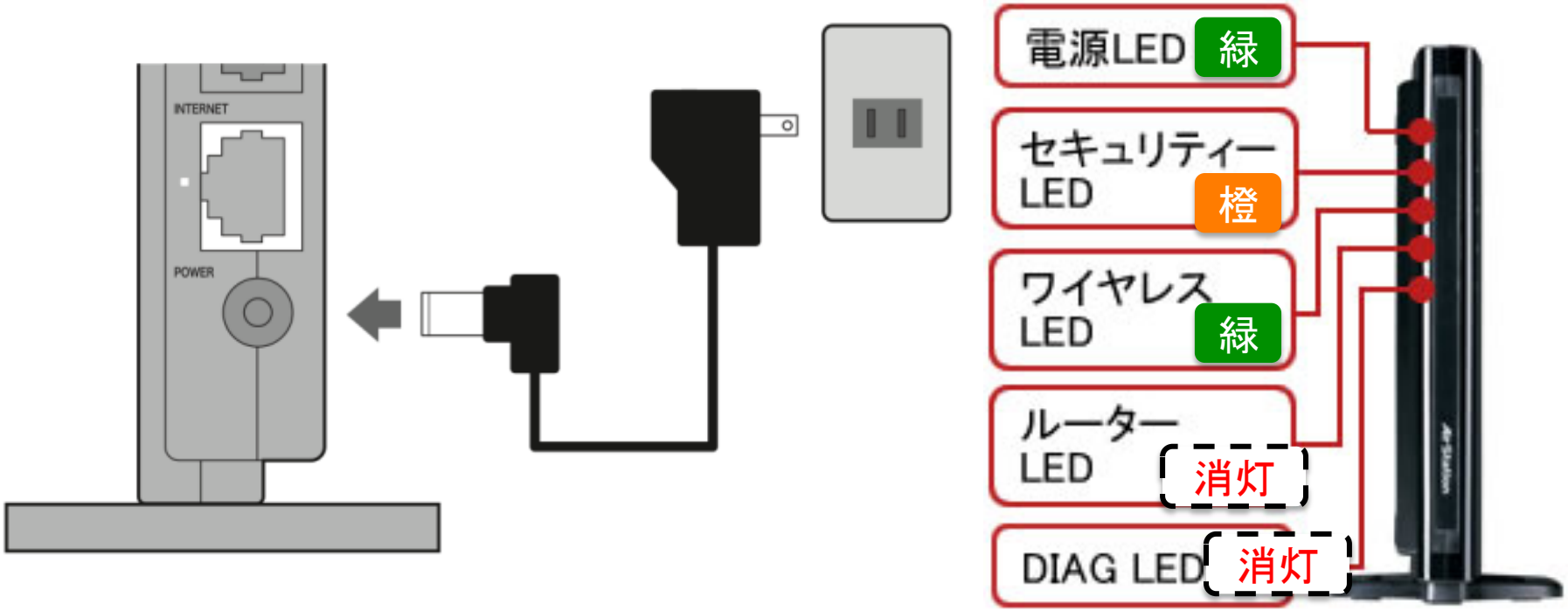
本体ユニットに電池を入れる

お客様のルータのLANポートから同梱のルータのWANポートに
LANケーブルを接続してください。



1、本体ユニットと無線ルータの電波強度確保

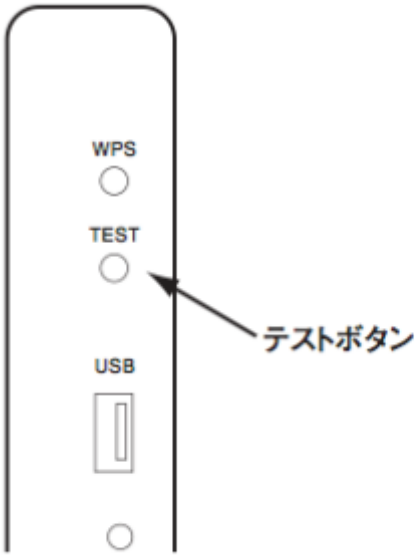
LANケーブルの接続が完了してから電源投入（アダプタ接続）してください。設定を変える時も電源は一度抜いてください。



・接続が終了してから、AC電源を接続し、無線LANルータの電源を入れて下さい。
・起動に1分程度時間がかかりますので、無線LANルータのLEDランプが図のようになるまでお待ち下さい。

1、本体ユニットと無線ルータの電波強度確保

TESTボタンでルータまでの電波強度を2回確認してください



①その場で・・・

②設置位置で・・・

壁

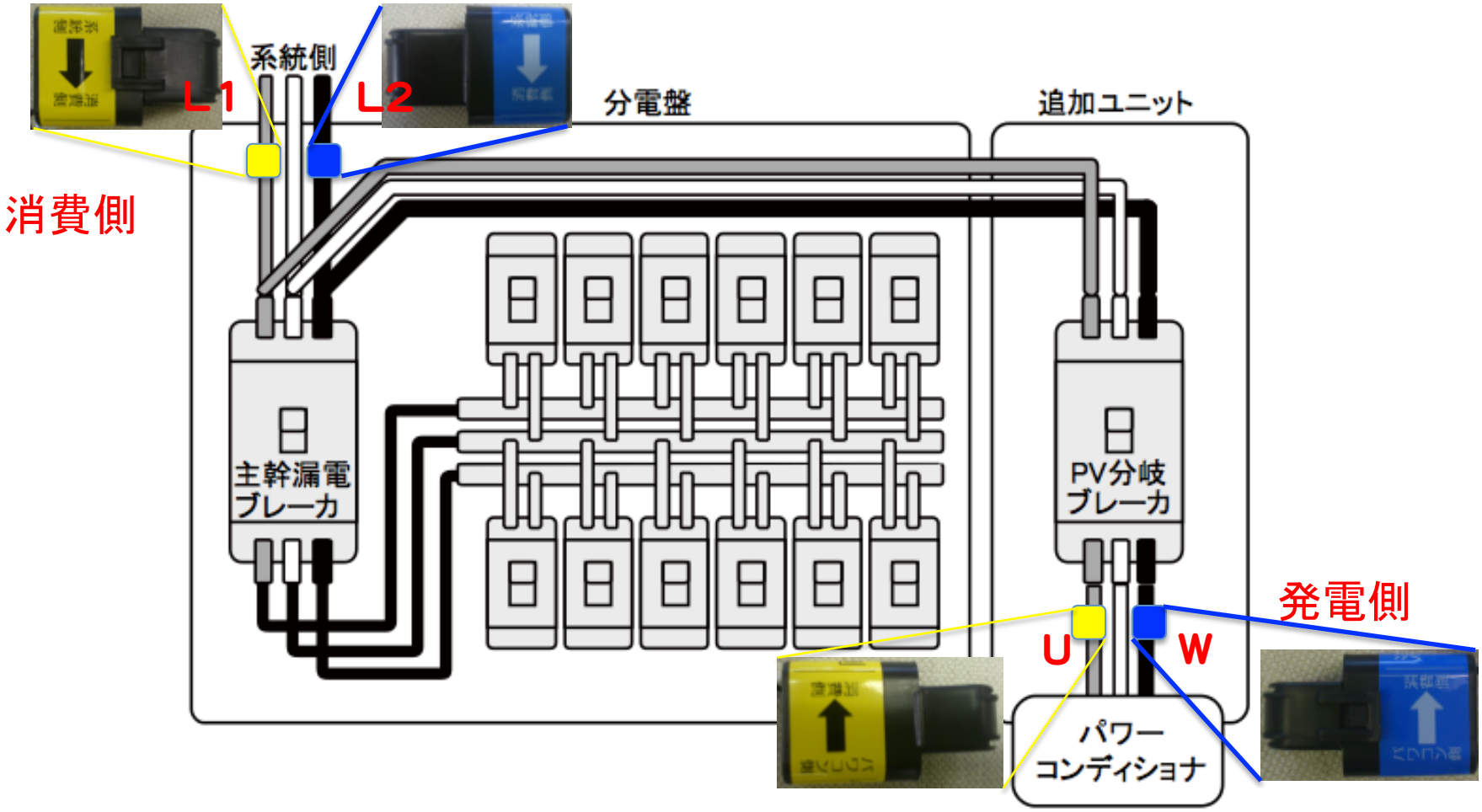
1、本体ユニットと無線ルータの電波強度確保

TESTボタンの結果を
確認してください

ランプの表示 TEST 通信中	結果	対処方法
WPS ③ ② ① TEST　WPS ③ ② ① TEST	電波強度[強] 接続テストが正常に終了しました。	無線設定は正しく完了しました。 対処は必要ありません。
WPS ③ ② ① TEST　WPS ③ ② ① TEST	電波強度[中] 接続テストが正常に終了しました。	
WPS ③ ② ① TEST　WPS ③ ② ① TEST	電波強度[弱] 無線アクセスポイントとの接続が不安定です。	ルータの位置や向きを変えても改善されない場合は、 エコめがねサービス ヘルプデスク （06-6221-0222）へ お電話ください
WPS ③ ② ① TEST　WPS ③ ② ① TEST	無線アクセスポイントに接続できない状態です。	

2、ユニットとCTを設置し、ケーブル接続する

CTの取付け：消費側（買電量の総量が計測できる場所）2個
発電側（発電量の総量が計測できる場所）2個



2、ユニットとCTを設置し、ケーブル接続する　PV側

**PVブレーカの上下どちらがパワコン側か、系統側かを
しっかり確認して、CTの向きを合わせて下さい。**

PVブレーカの上下どちらが
パワコン側／系統側なのか
目視では判りにくい場合が
あります。

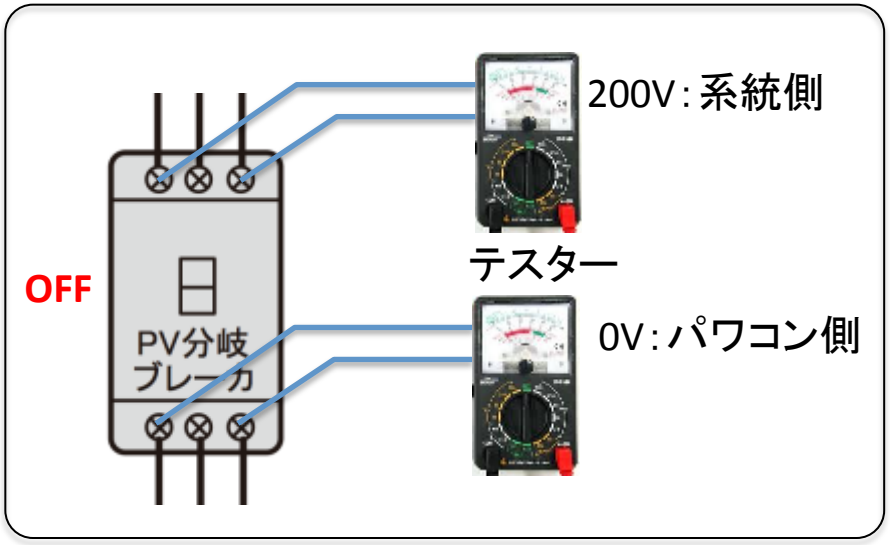
■判別方法

①PVブレーカをOFFにし、パワコンを停止させます。

②PVブレーカの上下で、U/W間の電圧を測定し、

200Vだと系統側

0Vだとパワコン側

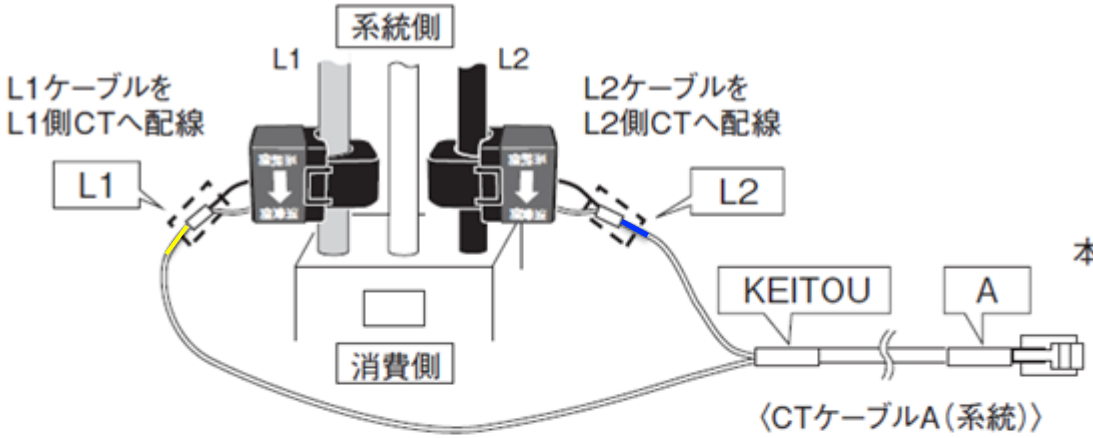


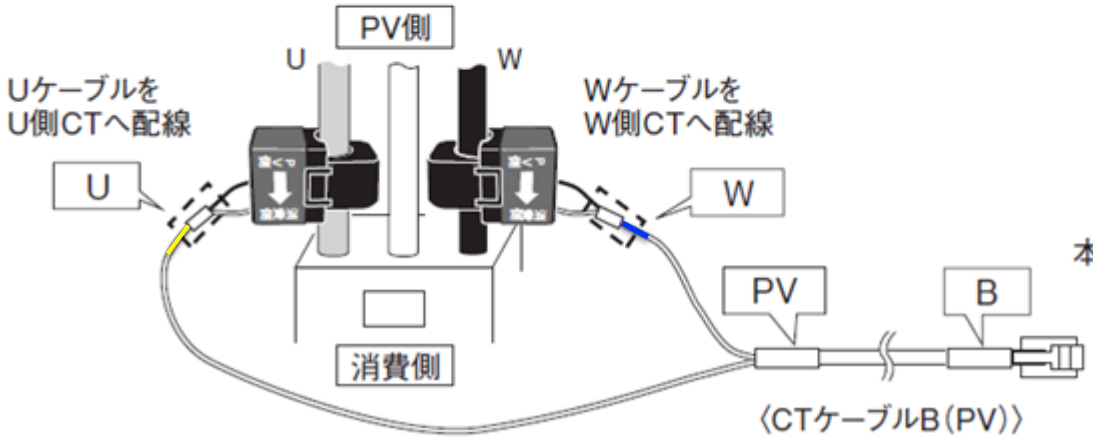
③判別できたら、PVブレーカをONにし、
パワコン起動を確認して下さい。

2、ユニットとCTを設置し、ケーブル接続する

CTにケーブルを接続する

接続先CT	CTケーブル
系統側のL1相	CTケーブルA（系統）の「L1」コネクタ
系統側のL2相	CTケーブルA（系統）の「L2」コネクタ
PV側のL1（U）相	CTケーブルB（PV）の「U」コネクタ
PV側のL2（W）相	CTケーブルB（PV）の「W」コネクタ





本体ユニットの【A】へ配線

KEITOU　A

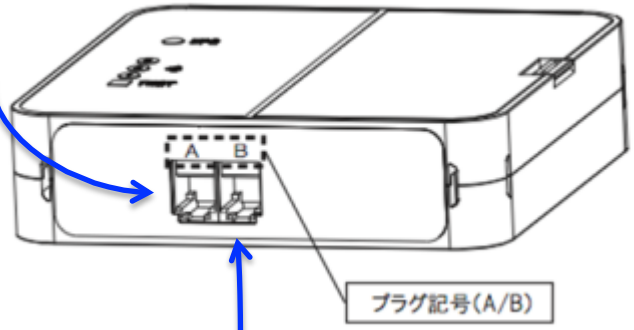
〈CTケーブルA（系統）〉

本体ユニットの【B】へ配線

PV　B

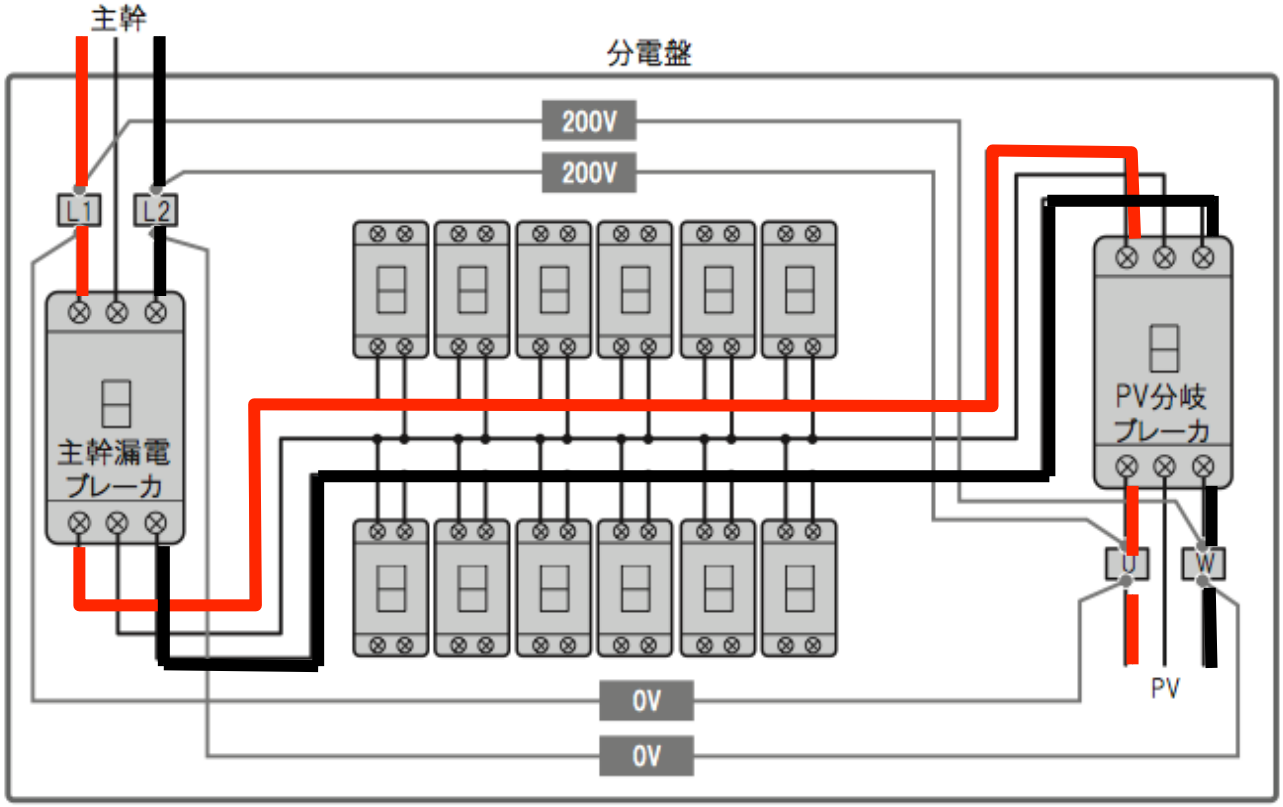
〈CTケーブルB（PV）〉

（本体ユニットを底面からみた図）



3、確認、配線作業

L1，L2，U，Wの取り付け位置を間違えると、正確な計測ができません。

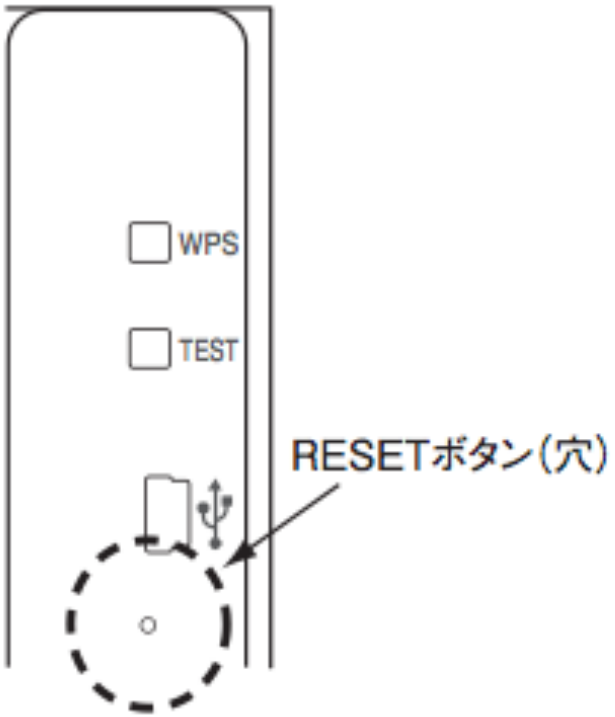


Check!

L1 ⟷ U ：0V	L1 ⟷ W ：200V
L2 ⟷ W ：0V	L2 ⟷ U ：200V

3、確認、配線作業

Check!



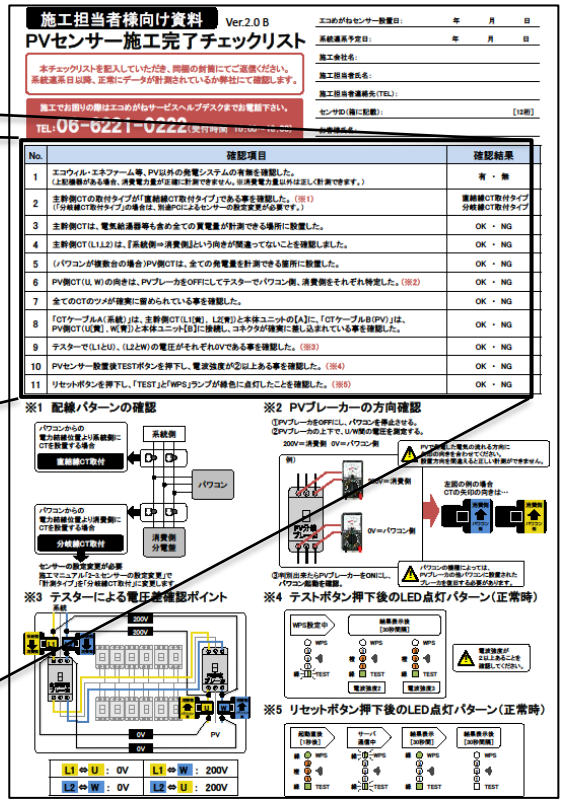
つまようじ、クリップ等で
押して下さい。

ランプ表示の変化 起動直後[1秒後] → サーバ通信中 → 結果表示[30秒間] → 結果表示後[30秒間隔]	原因	対処方法
緑 WPS / 橙 ③②① / 緑 TEST → 緑 WPS / 緑 ③②① / 緑 TEST → 緑 WPS / 緑 ③②① / 緑 TEST → WPS / ③②① / TEST	正常な状態です。	処置は必要ありません。 ※30秒後以降は、消灯します。
緑 WPS / 橙 ③②① / 緑 TEST → 緑 WPS / 緑 ③②① / 緑 TEST → 赤 WPS / 赤 ③②① / 赤 TEST → 赤 WPS / ③②① / 赤 TEST	無線通信の設定が誤っている可能性があります。	無線通信設定の確認と改善が必要です。 ※30秒点灯以降は、30秒間隔に2秒点灯します。
	無線LANルータの電源が入っていない可能性があります。	無線LANルータの電源を入れてください。
緑 WPS / 橙 ③②① / 緑 TEST ⇨ WPS / 橙 ③②① / TEST → 橙 WPS / 橙 ③②① / 赤 TEST	無線設定が完了していない可能性があります。	無線設定（SSIDかWPSによる設定）を行ってください。 ※30秒点灯以降は、30秒間隔に2秒点灯します。
緑 WPS / 橙 ③②① / 緑 TEST ⇨ WPS / ③②① / TEST → 橙 WPS / 橙 ③②① / 橙 TEST	エコめがねサーバに未登録の端末IDのため、計測が実施できない状態です。	販売店に相談してください。 ※30秒点灯以降は、30秒間隔に2秒点灯します。
緑 WPS / 橙 ③②① / 緑 TEST ⇨ WPS / ③②① / TEST → 橙 WPS / 橙 ③②① / 橙 TEST	USBケーブルを取り外しましたか？	パソコンからの設定をしている状態です。 USBを取り外してください。
緑 WPS / 橙 ③②① / 緑 TEST ⇨ 赤 WPS / 橙 ③②① / 赤 TEST → 赤 WPS / 橙 ③②① / 赤 TEST	機器障害により動作できない状態です。	機器または設置の修正が必要です。 ※30秒点灯以降は、30秒間隔に2秒点灯。
緑 WPS / 橙 ③②① / 緑 TEST ⇨ 赤 WPS / 橙 ③②① / 橙 TEST → 赤 WPS / 橙 ③②① / 赤 TEST（常時点灯）	ファームウェア異常状態です。	ファームウェアに異常があるため、ファームウェアの更新が必要です。 ※30秒点灯以降は、点灯したままになります。

3、確認、配線作業

最後に、セットに同梱している、
「PVセンサー施工完了チェックリスト」で確認。

No.	確認項目	確認結果
1	エコウィル・エネファーム等、PV以外の発電システムの有無を確認した。 （上記機器がある場合、消費電力量が正確に計測できません。※消費電力量以外は正しく計測できます。）	有 ・ 無
2	主幹側CTの取付タイプが「直結線CT取付タイプ」である事を確認した。（※1） （「分岐線CT取付タイプ」の場合は、別途PCによるセンサーの設定変更が必要です。）	直結線CT取付タイプ 分岐線CT取付タイプ
3	主幹側CTは、電気給湯器等も含め全ての買電量が計測できる場所に設置した。	OK ・ NG
4	主幹側CT（L1,L2）は、『系統側⇒消費側』という向きが間違ってないことを確認しました。	OK ・ NG
5	（パワコンが複数台の場合）PV側CTは、全ての発電量を計測できる箇所に設置した。	OK ・ NG
6	PV側CT（U, W）の向きは、PVブレーカをOFFにしてテスターでパワコン側、消費側をそれぞれ特定した。（※2）	OK ・ NG
7	全てのCTのツメが確実に留められている事を確認した。	OK ・ NG
8	「CTケーブルA（系統）」は、主幹側CT（L1[黄]，L2[青]）と本体ユニットの【A】に、「CTケーブルB（PV）」は、 PV側CT（U[黄]，W[青]）と本体ユニット【B】に接続し、コネクタが確実に差し込まれている事を確認した。	OK ・ NG
9	テスターで（L1とU）、（L2とW）の電圧がそれぞれ0Vである事を確認した。（※3）	OK ・ NG
10	PVセンサー設置後TESTボタンを押下し、電波強度が②以上ある事を確認した。（※4）	OK ・ NG
11	リセットボタンを押下し、「TEST」と「WPS」ランプが緑色に点灯したことを確認した。（※5）	OK ・ NG

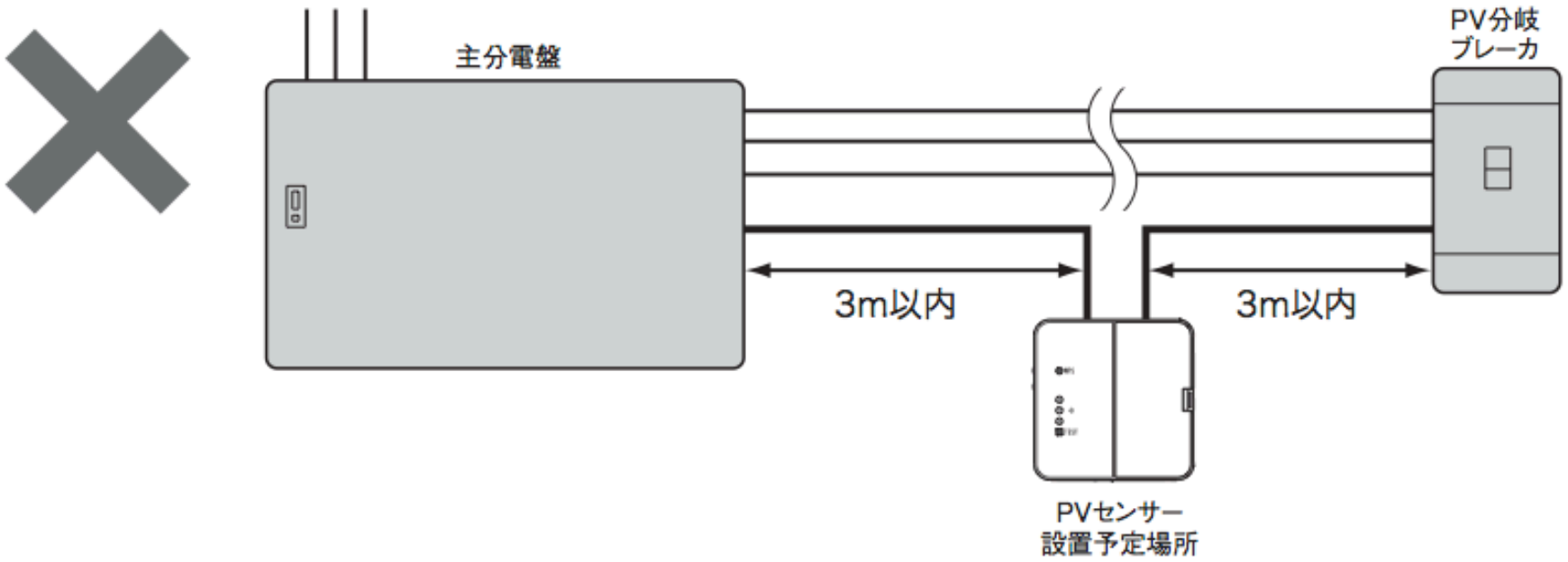


同梱の封筒にてご返送頂くと、
系統連系以降、正確に計測されているか弊社で確認します。

その他

CTケーブル（2m）はオプション品をつけることによって3mに延長可能ですが、
その範囲で取り付けができる位置にPVブレーカを設置してください。

① 主分電盤から離れた位置に、PVブレーカを設置しないでください。
PVセンサーの配線ケーブルが、計測ポイントに届かなくなります。



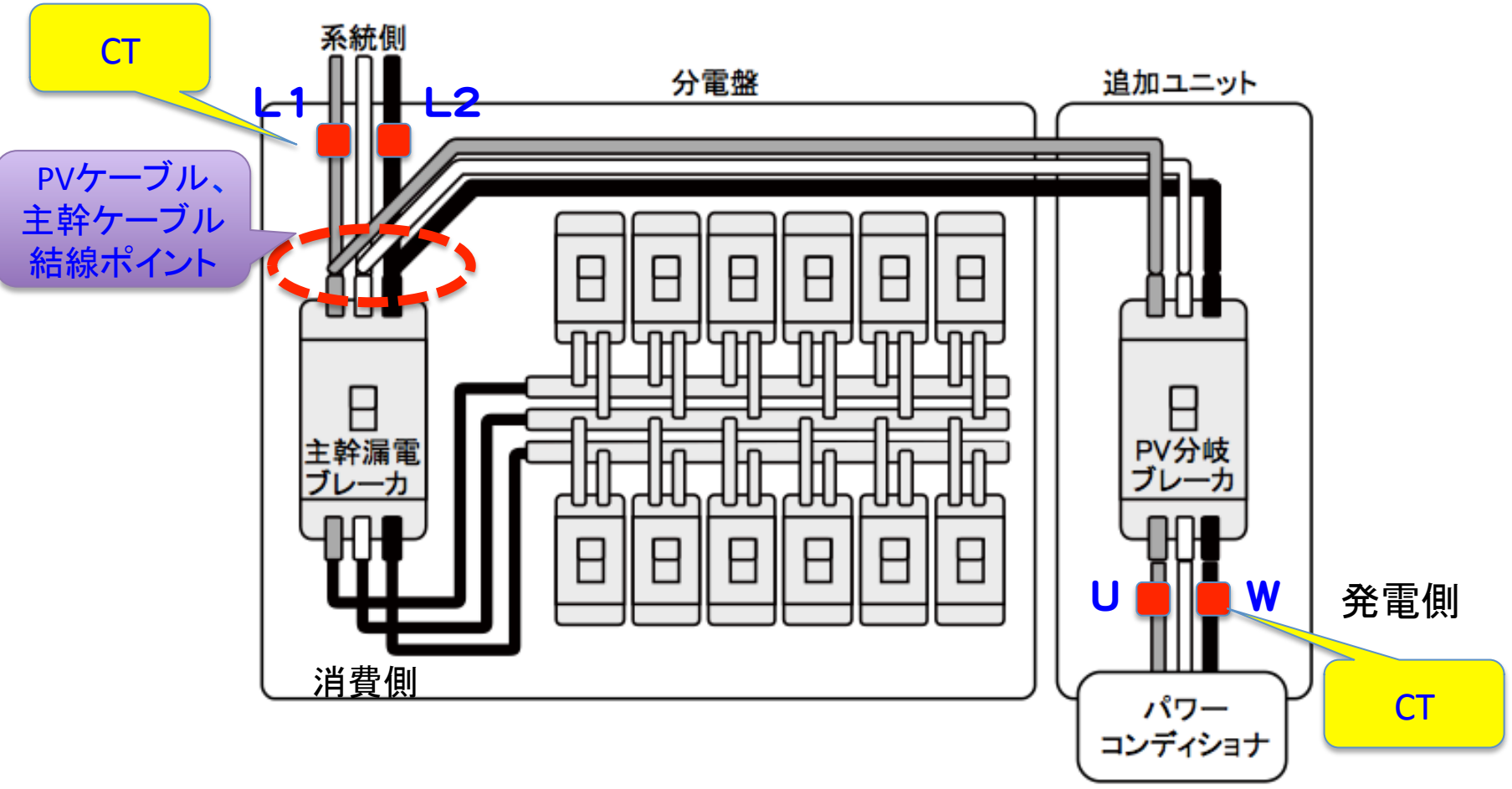
施工に関するご質問･ご相談は
エコめがねサービスヘルプデスク

06-6221-0222

(10:00～18:00)

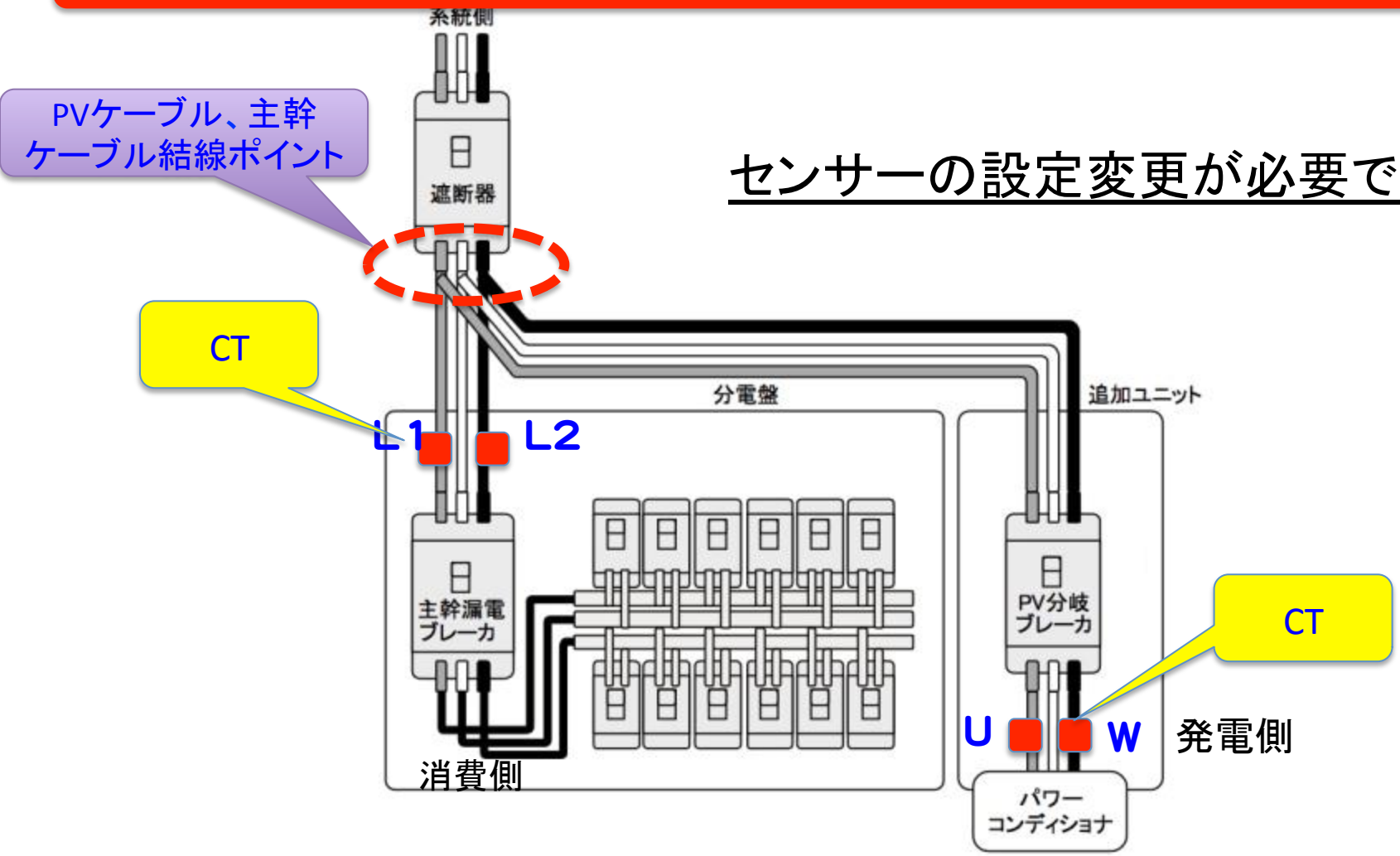
お客様宅の分電盤タイプの確認

直結線CT取付けタイプとは、
CTの設置場所がパワコンからのケーブルと主幹ケーブルの結線ポイントよりも系統側にある



お客様宅の分電盤タイプの確認

分岐線CT取付けタイプとは、
CTの設置場所がパワコンからのケーブルと主幹ケーブルの結線ポイントよりも消費側にある

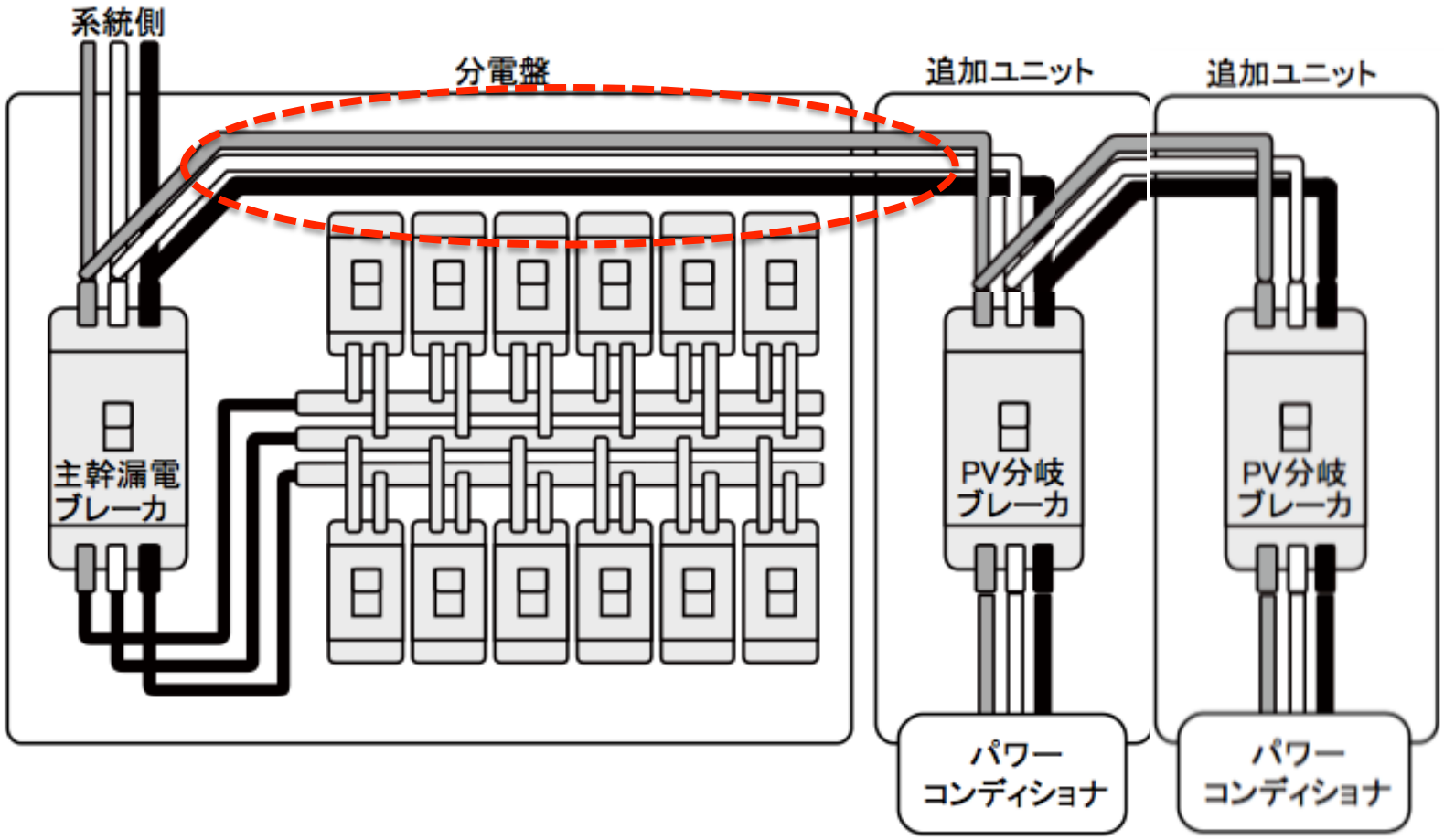


センサーの設定変更が必要です。

分電盤へのCT設置

PV側

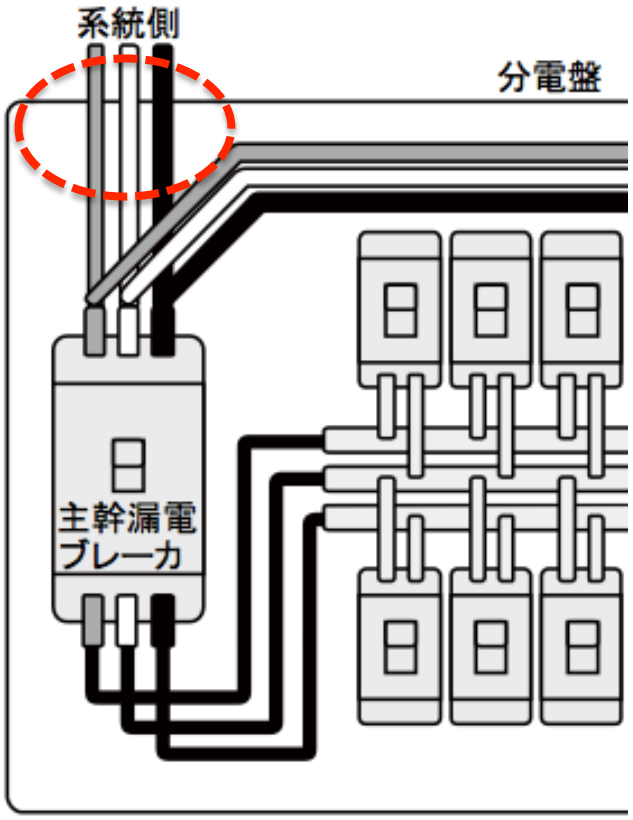
発電側計測ポイント　：　PVの発電量の総量が計測できる位置

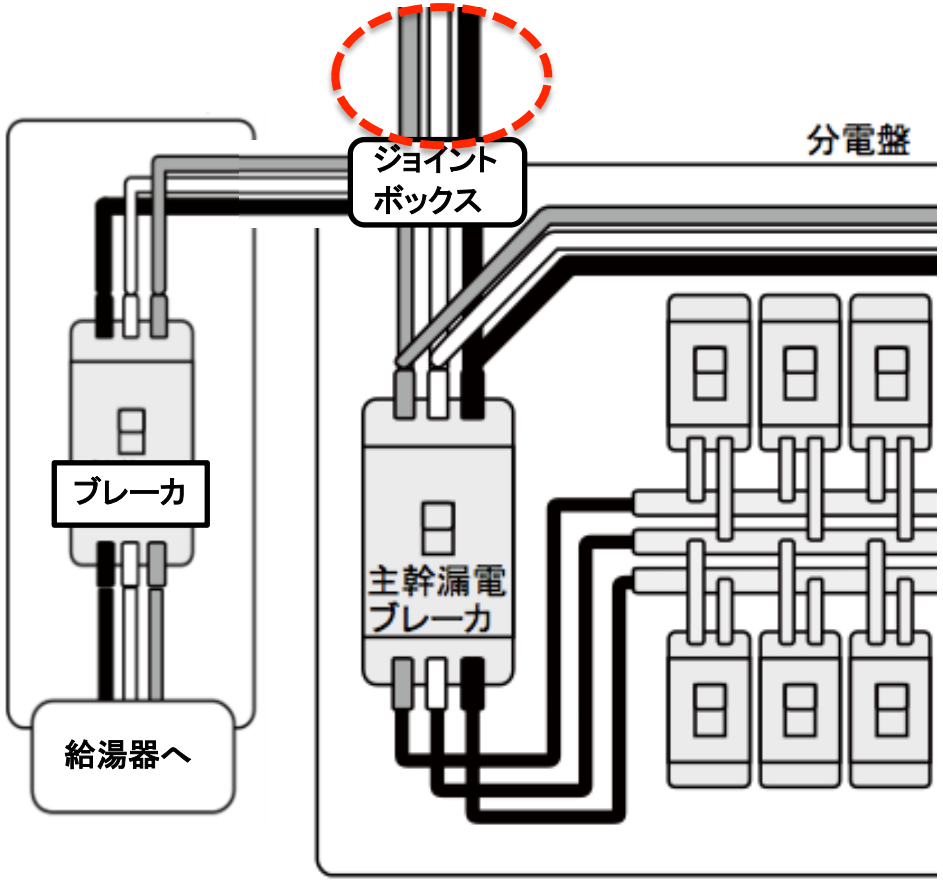


分電盤へのCT設置

消費側

消費側計測ポイント　：　電力会社からの買電量の総量が計測できる位置





エコキュートが設置されている場合